

- 問1 ドイツからフランスにかけてのヨーロッパ中西部で広く見られる、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を組み合わせで行う農業の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-----------|-------|
| 1. 混合農業 | 2. 移牧 | 3. 地中海式農業 | 4. 酪農 |
|---------|-------|-----------|-------|
- 問2 ピレネー山脈を挟んでフランスと隣接しているスペインの、経済や産業における特徴的な説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。 | 2. 主要作物である小麦の自給率が100パーセントを超えており、ヨーロッパ州を代表する穀物輸出拠点となっている。 | 3. EUには加盟しているが、共通通貨の導入に反対し、フランスとの貿易制限を行っている。 | 4. ユーロなどの共通通貨は使用せず、自国独自の通貨を維持することで、独自の農業政策を推進している。 |
|--|--|--|--|
- 問3 2023年のフランスにおける輸出品目の内訳をみると、機械類が約19パーセントと最も多く、次いで自動車、医薬品、航空機などがそれぞれ約6パーセントから9パーセントを占めています。このような統計から読み取れるフランスの輸出産業の特徴として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 鉄鉱石や石炭などの鉱脈資源が主要な輸出品目となっている | 2. 機械類や航空機、医薬品などの工業製品が輸出の大部分を担っている | 3. 小麦やワインなどの農産物が輸出額の過半数を占めている | 4. 衣類や靴などの軽工業製品が輸出額の約8割を占めている |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
- 問4 ヨーロッパの言語は、その成り立ちや歴史的背景からいくつかのグループに分類されます。イタリア語、スペイン語、ポルトガル語と同じグループに属し、古代ローマの公用語であったラテン語を起源とする言語として適切なものを、次の中から選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|----------|
| 1. 英語 | 2. ドイツ語 | 3. ロシア語 | 4. フランス語 |
|-------|---------|---------|----------|
- 問5 ヨーロッパ北西部に位置するオランダでは、海や湖を干し上げて土地を広げてきました。このようにして作られた干拓地の名称と、そこで盛んに行われている、高度に機械化された温室などで花や野菜を大規模に生産する農業の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 「カルスト」と呼ばれる干拓地での「酪農」 | 2. 「ポルダー」と呼ばれる干拓地での「地中海式農業」 | 3. 「カルスト」と呼ばれる干拓地での「園芸農業」 | 4. 「ポルダー」と呼ばれる干拓地での「園芸農業」 |
|-------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問6 1990年から2020年にかけての主要国のエネルギー供給の変遷について、イギリスでは2010年から2020年の10年間で、発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が4倍以上に急増しました。このようにイギリスで再生可能エネルギーの導入が急速に進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため | 2. 二酸化炭素を排出しない原子力発電を、2020年時点で国内の全発電量の8割以上にする目標を達成したため | 3. 2020年までに石油による火力発電の割合を2010年比で倍増させるというエネルギー政策を打ち出したため | 4. 国内に広大な砂漠気候の地域を有しているため、大規模な太陽光発電パネルの設置を優先したため |
|---|---|--|---|
- 問7 アルプス山脈に源を発し、ドイツやフランスなどの国境付近を通りながら北海へと注ぐライン川のように、複数の国をまたいで流れ、条約によってどの国の船でも自由に航行することが認められている河川を何と呼びますか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 運河 | 2. 国際河川 | 3. 潮汐河川 | 4. 外来河川 |
|-------|---------|---------|---------|
- 問8 ロシアの貿易構造について述べた文として、統計上の特徴を正しく説明しているものはどれですか。なお、ロシアの貿易総額に占める割合は、輸出が約61%、輸入が約39%である資料に基づき判断してください。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
| 1. インドと同様の貿易構造を持ち、常に輸入額が輸出額を上回っている。 | 2. 工業製品の輸入が輸出を大幅に上回っているため、貿易赤字の状態にある。 | 3. 輸出と輸入の割合がほぼ等しく、貿易均衡の状態を保っている。 | 4. 資源大国であるため、輸出の割合が輸入に比べて高く、貿易黒字の状態にある。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
- 問9 フランスなどの農業国において、小麦やライ麦の生産と並行して豚や牛の飼育が行われる「混合農業」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. 大都市向けの生乳やバターを生産するため、牧草地の確保と乳牛の飼育に特化する。 | 2. 生産した穀物の一部を家畜の飼料とし、家畜の糞尿を肥料として土地に還元する。 | 3. 熱帯の広大な土地を利用して、輸出品の商品作物のみを単一栽培する。 | 4. 夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹栽培と、羊の放牧を組み合わせる。 |
|---|--|-------------------------------------|---|
- 問10 ヨーロッパの気候を形成する要因について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。 | 2. 赤道付近から北上する暖流と、極地方から南下する寒流がヨーロッパ西岸でぶつかり、その上昇気流を偏西風がとらえることで温暖になる。 | 3. 暖流である黒潮がヨーロッパ近海まで到達しており、大西洋から吹きつける偏西風がその熱を大陸の奥深くまで届けている。 | 4. 寒流である北大西洋海流の影響で大気が冷やされるが、大陸から吹く季節風が暖かい空気を運ぶため、冬の寒さが緩和される。 |
|---|--|---|--|
- 問11 小麦の輸出統計において、アメリカ合衆国、カナダ、ロシアといった国々が世界の輸出量の上位を占めている主な理由として、これらの国々に共通する農業の背景を述べたものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 広大な平野において大型の機械を用いた大規模な農業が行われているため。 | 2. 熱帯の気候を生かし、特定の農産物を輸出用に栽培するモノカルチャー農業が普及しているため。 | 3. 地中海性気候による夏季の乾燥を利用した、果樹栽培や野菜作りが中心であるため。 | 4. 山間部の限られた土地を利用し、労働力を集中させた集約的な稲作が行われているため。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問12 ヨーロッパの農業地域を分ける地理的要因について、アルプス山脈が果たしている役割に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 山脈の標高が高いため、山脈の北側では熱帯作物の栽培が行われ、南側では寒冷地農業が行われている。 | 2. 山脈が偏西風を完全に遮断するため、山脈の南側は一年を通して降水量が極めて少ない砂漠気候となっている。 | 3. 北側の酪農・混合農業地帯と、南側の地中海式農業地帯を分ける気候的な障壁となっている。 | 4. EU（欧州連合）の共通農業政策により、山脈を境にして北側を工業地帯、南側を専業農家地帯とする法的境界になっている。 |
|--|---|---|--|